



# 手術を受けられる方へ

## 持ち物

- 同意書
- 生理用ショーツ1枚(着用せずに持参してください)
- ナプキン(昼用1枚、夜用2枚)
- 髪の毛の長い方は髪を結ぶゴム
- 眼鏡が必要な方は眼鏡ケース(コンタクトレンズは控えてください)

## 注意点

- 麻酔をかけますので、手術前日の21時から手術終了後麻酔が覚めるまでは飲食をご遠慮ください(手術時に静脈麻酔を行うため、胃の中に食べ物が残っていると嘔吐時に食べ物が逆流し、肺に入ると呼吸が出来なくなる恐れがあるため)。  
手術前日の21:00~当日9:00までの間にOSI経口補水液500mlのみをお飲みください。
- お化粧、手足のマニキュアは落とし、爪は短く切ってください。
- 時計、アクセサリー類ははずしてきてください。
- 車での来院は控えてください(ご本人以外でしたら結構です)。
- ご家族の付き添い、お子様連れはできません。
- 受付時に体温を確認するため、当日の朝に自宅で体温測定をお願いします。発(37.5℃以上)や体調不良がみられる場合、来院は控えていただき、ご連絡ください。

OSI 500ml  
を全部飲み  
切ってください。



## 当日の流れ

- ① 受付後、同意書の提出をお願いします。
- ② 医師との診察後、内診室で子宮の入り口を拡げる処置をします。その際、尿が溜まっていた方が処置がスムーズに行えるため、手術当日の8:00から尿をためてきてください。
- ③ 処置後、安静室にご案内します。術衣に着替え、体温・血圧を測定し、点滴を行います。
- ④ 手術はお昼前後に予定しています。手術時間は10分程です。
- ⑤ 手術後、麻酔が覚めるまでは安静となります。状態を確認し、15時頃から帰宅準備をします。
- ⑥ 帰宅準備が整いましたら、内診し、医師との診察があります。
- ⑦ 診察後、会計となります。お帰りは16時以降になります(費用はホームページの料金表をご確認ください)。

## 手術後

- 1週間ほど出血します。少なくなってきますので様子を見てください。出血がなくなるまではシャワー浴にしてください。
- 多少の腹痛もあります。我慢できない痛みの場合は鎮痛剤を服用ください。それでも腹痛がひどくなる場合はご連絡ください。
- 内服薬が5日間処方されますので指示通り服用してください。
- 普段通りの生活をお過ごしください。
- 手術後の診察日には医師から説明があります。



# 子宮内容除去術について

## 方法

手術前に子宮の頸管を拡げる処置をします。手術は吸引器を用いて子宮内の胎嚢と胎盤成分を摘出します。手術は静脈麻酔で行い、10分程かかります。

## 合併症

### 出血

手術操作に伴い出血が多くなることがあります。特に妊娠した子宮は軟らかく出血しやすいため、その傾向が強くなります。稀に輸血が必要になることがあります。

### 子宮裂孔

極めて稀です。軽症の場合は安静と抗生物質の投与で経過観察をしますが、時に開腹手術になることや子宮摘出に至る場合もあります。

### 内容物の遺残

子宮内容除去術を行っても子宮の特殊な形態や子宮内の癒着、病変等により内容物の排出が完了せず再手術が必要になることが稀にあります。

### 感染

抗生物質で予防しますが、術後感染が起り、発熱・腹痛等の症状を起こすことがあります。

＊ 診断書をご希望の方は、指定の用紙を受付に提出してください。

＊ 手術により摘出したものは病理検査に提出し、約2週間後に結果がでます。

## 緊急連絡先

**診療時間内連絡先:0467-50-0112**

**診療時間外緊急連絡先:090-3342-6971**にご連絡ください。

### ● 診療時間外緊急連絡対応時間

月・火・水・金 19:00～7:30

木 10:30～7:30

土 17:00～7:30

日祝日 全時間

● 直ぐに電話にでられないこともあります。その際は、伝言をお残してください。

● 緊急電話料金がかかります。[こちら](#)をクリックしてご確認ください。

ご不明な点がありましたら、医師または看護師にご相談ください。

医療法人社団 守巧会

矢内原ウイメンズクリニック